

G20各国に向けての政策提言

朝鮮半島の非核化と平和プロセス推進

課題の背景、経緯

2018年5月のブエノスアイレスでのG20外相会合第2セッションにおいて、「北朝鮮の核・ミサイル開発問題」について論議がされました。

2018年4月27日、韓国と朝鮮民主主義人民共和国（＝朝鮮、DPRK）の首脳による「朝鮮半島の平和、繁栄、統一のための板門店宣言」、また6月12日、シンガポールにおいて米朝首脳会談で合意された共同声明が出されています。シンガポール米朝首脳会談声明では「トランプ大統領は北朝鮮に安全の保証を与えることを約束し、金委員長は朝鮮半島の完全な非核化への確固でゆるぎない約束を再確認した」としており、「朝鮮半島の非核化・平和」のプロセスの進展に期待が高まっています。

その後、米朝間の交渉は、2019年2月ハノイ会談、6月の板門店会談、10月のストックホルムの実務者会議も大きな進展はありません。

現在、「朝鮮半島の非核化・平和のプロセス」は、米朝会談の進展にゆだねられていると言える状況です。膠着した状況を進展させるために、G20各国と国際社会の強い後押しがのぞまれます。

提言

1、G20各国が米国に米朝交渉において「段階的に解決する」という現実的な交渉を要請すべきです。

ロイター通信は「2月のハノイ会談では米国側が、すべての核兵器と燃料を引き渡す（リビア方式）の方針を前面に出した」と伝えています（2019・3・29）。このことが会談を不調に終わらせた原因と考えられます。米国のジョセフ・ユン前國務省北朝鮮担当特別代表は、10月16日に聯合ニュースのインタビューで「強制的に北朝鮮に核の引き渡しをさせるのではなく、段階的に解決すべき」「非核化の全段階をすすめるには長い時間がかかる」「非核化と制裁解除に対し米国も柔軟性があることを明確にすべき」という意見を述べています。この発言は「段階的でない非核化」は現実的ではないということを言っています。私たちはこの意見に同意します。私たちは米国の段階をふまえた現実的な対応が求められていると思います。

2、米朝会談の進展を阻害する要因ともなっている朝鮮に対する経済制裁を解除することを米国、G20各国は提案すべきです。

安保理決議に基づく朝鮮への制裁の履行も考え直す必要があると思われます。その理由をあげます。

- 1、弾道ミサイル技術に基づく発射を問題にすることは、主権国家の自衛権を否定する行為という朝鮮の反発は一定の説得力があります。
- 2、2006年以来、国連安保理制裁決議は10回なされています。制裁は「核実験と弾道ミサイル技術を用いたあらゆる発射を禁じ」（安保理決議1718 2006年）を根拠として、11年にわたり実施されました。しかしながら、目標とする「北東アジア全体の永続的な安定」の進展には成果をあげていません。
- 3、制裁決議は「DPRKは国民の欲求が満たされない中、福祉よりも核兵器と弾道ミサイルを迫及し続けることを非難する」としています。しかしながら、制裁措置の実態は、ミサイルや核プログラムへの資金遮断の域を超えるものになっています。
- 4、経済制裁が北朝鮮市民の生活をおびやかしています。
- 5、安保理決議の中には、DPRKの遵守状況に照らして、必要に応じて制裁措置を強化したり、修正したり、留保したり、解除する準備があるという条項があります。現在朝鮮はICBMの発射実験、核実験を停止しており、この条項に照らせば制裁措置の見直しは可能だと思います。

制裁解除は、何よりも敵視政策をやめることの証明になり、朝鮮にたいする安全の保証の一步にもなると思います。

3、朝鮮半島の周辺国による軍事的圧力を停止する必要があります。

今年5月以降に朝鮮（DPRK）は短距離弾道ミサイル発射を繰り返しおこなっているが、背景には米韓の

共同演習の実施やF35や無人偵察機グローバルホークが韓国へ配備されることへの反発があると考えられています。軍事的圧力は北東アジア地域の平和、軍縮の妨げになっています。現在、朝鮮はICBMの発射、核実験の停止」を履行していますが、金委員長が、米朝交渉について年末までの期限を言っており、早急な米朝会談の進展が望まれます。今は、対話の環境をつくることが重要と思います。

4、G20外相会議で「北東アジア非核兵器地帯構想」を検討すべきです。

これまでに北東アジア非核兵器地帯構想が日本の市民社会より提案されています。韓国、朝鮮と日本の3カ国が非核兵器地帯を形成し、米国、中国、ロシアが核攻撃をしないという約束をするという構想です。これは、北東アジア地域での信頼醸成と朝鮮半島の非核化という課題への現実的な対応になります。

以上

2019年11月21日

不戦へのネットワーク (Anti-war Network)

〒450-0001

名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

TEL 050-3593-5130

Eメール husen@jca.apo.org

英文作成

World BEYOND War 日本支部